

神学校献金(神学生奨学金献金) 振替00150-7-669605 日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局

「自立したバプテストの信徒になりたい」

山田誠一(全国壮年会連合会長・大井教会)



昨年度までの6年間を担ってくださった旧役員の皆さまご苦労様でした。

今年度より会長として働かせていただきます私を筆頭に役員は全員初めてのことで、緊張と不安でいっぱいです。しかし、主の導きと祝福を祈って下さるみなさまに支えられて、働きを全うできると信じています。

私たちは何か特別な働きが出来るなどとは思っていません。諸先輩方が尽力されてこられた道を歩いていくまでですが、現状を把握して取り組んでいきたいと願っています。

全国壮年会の柱となる働きは「伝道者養成の働きに参与する」、「教会形成を担う」です。伝道者養成については引き続き神学校献金(神学生奨学金献金)を推進していきます。教会形成を担う事については、それぞれの教会で壮年たちがその教会家族と共に教会を建て続けておられると思います。

しかし、昨今は高齢化が進み若者は教会に集まってこない状態です。教勢は落ちて経常献金は減少し、

牧師、教役者の生活を支えるのも大変な時代です。巷では貧困と孤独が社会問題となっています。教会もそれぞれの地域にあるわけですから、現実の社会的問題から目を背けるわけにはいきません。ですから、バプテストの信徒としての自立した活動が求められてくると思われます。

私たち壮年は自立した信徒として関わり合いたいのです。教会の枠を超えて、地方連合の活動や全国の活動に参加してください。協力伝道を進めていきましょう。最後に、私が心に留めている御言葉を紹介します。

「彼らは苦しみによる激しい試練を受けていたのに、その満ち満ちた喜びと極度の貧しさがあふれ出て、人に惜しまず施す豊かさとなったということです。わたしは証しますが、彼らは力に依りて、また力以上に、自分から進んで、聖なる者たちを助けるための慈善の業と奉仕に参加させてほしいと、しきりにわたしたちに願い出たのでした。」

(コリントの信徒への手紙 二 8章2-4節)

全国壮年会連合 役員一言メッセージ

山田誠一：会長、生年月日1955年8月11日、62才。干支ひつじ、星座しし座、血液型A型。しかし大井教会の方からはO型と思われる。家族構成は妻、長男、次男、三男。趣味ゴルフ、野球。若い時はやる方、今は観るだけが多い。(大井教会)

三室日朗：副会長を担当します。西南学院大学神学部と九州バプテスト神学校の地元福岡では、神学生は見慣れた存在であり、かつ日頃から親しく接している信仰の友です。神学生とそれを支える壮年連合との懸け橋となる事が出来ればと願っています。(西南学院教会)

向井田洋：自分の教会の奉仕をさせて頂くだけでも光栄なことなのですが、連合書記という新しい任に少し興奮しています。皆様の迷惑を承知で楽しみながら、スタートしていきたいと思えます。(仙台基督教会)

相山憲司：会計を担当させて頂くことになりました。漸く壮年連合の仲間に入れて頂けたと言う嬉しさと、大変な事を引き受けてしまったかなと言う不安が交錯し複雑な思いです。信仰の兄弟として受け入れて頂き、皆様のお役に立てれば幸いです。(青梅あけぼの教会)

豊永義典：事務局長を担当します。これまで地方連合の壮年会や壮年大会等で一壮年として色々と言ってきましたが、今回は役員の一員として色々と言信しながら、元気な壮年会になっていきたいと願っています。(川崎教会)

加山文規：今期も監査を担当します。2年間の監査を通して、神学生支援に壮年会連合が大きな働きをしていることが分かりました。壮年会連合の働きが主の祝福を得るとともに、神学生への支援が全国の諸教会隅々まで及ぶことを祈ります。(水戸教会)

富士栄迪：主のみ名を讃美します。引き続き、監査の役割を与えられました。何をどうすれば分からない事も多くありますが、「あなたの光によって、我らは光を見る」のみ言に支えられて、働きたいと思えます。(名古屋教会)



写真左から：向井田書記、飯野事務局員、相山会計、豊永事務局長、山田会長、三室副会長、富士栄監査、加山監査

《神学生の証》 西南学院大学神学部 博士前期2年 平野健治（推薦教会 大井教会）



私は平野健治37歳です。妻の美喜（みき）、友基（ともき・3歳）、航希（こうき・1歳）の4人家族です。皆さんの日々のお祈りに感謝を致します。そして全国壮年会奨学金（1種・2種）のお支えにも感謝をします。特に2種奨学金は昨年度から、こどもへの手当、図書援助費が加わり、より強く支えられていることを実感しています。

私が献身を考え始めたとき、壮年会連合奨学金の存在を知りませんでした。そして西南学院大学の4年間の学費と生活費、おそらく600万円以上を、自分の貯金と一般の奨学金で賄おうと計画していました。初めて壮年会の奨学金の存在を知り、学費の全額と生活費が支援されるということを知った時、大変な驚きと感謝を覚えました。

もちろんその時、奨学金が無くても私は必ず献身していましたし、そのつもりでいました。お金が無くても献身していた“はず”です。今、妻と二人の子供がいますが、奨学金が無くてもきっと私は献身していた“はず”です。でも恐れず、もう一度自分に問います。本当に献身していただろうかと。本当に誰の支えも無しに献身していただろうかと。そして私は今正直に言うべきかもしれません。支えが無かったら「献身出来なかったかもしれない」と。

でもだからこそ言えるのかもしれませんが、これは私だけの献身ではない、たくさんの人々の献身なんだと。神様が私に起こして下さった献身は、私だけでは実現できなかったのです。支えてくださるたくさんの方がいて、それは実現できたのです。皆さんお祈りと尊い奨学金のお支えに心から感謝しています。これからもたくさんの方の「献身者」が生まれていくことをお祈りしています。

公 告

2018年度全国壮年会連合総会に関わる件

規約細則第6条の定め（60日以上前）により表題の件を通知いたします。

- 総会日時：2018年8月18日（土）9：00～
【全国壮年大会の2日目に総会を行ないます】
- 開催場所：尚絅学院中学校・高等学校礼拝堂
- 議案：全国壮年会連合ニュース第102号
（6月末頃予定）に合せお知らせします。
- 代議員登録（規約細則第4条、第7条による）
 - ◇ 派遣代議員：各教会・伝道所3名まで登録
 - ◇ 登録締切日：7月19日（水）／総会期日30日前
・・・参加者申込みに合わせて
- * 規約細則9条により壮年会等は議案を提出できます。
7月19日（木）までに役員会に提出ください。

日本バプテスト連盟奨学金を希望される方へ
日本バプテスト連盟奨学金を希望者は「日本バプテスト連盟全国壮年会連

申請書類	入学予定者
◇西南学院大学神学部・大学院学生奨学金願書	○
◇奨学金申請に関する推薦決議書	○
◇西南学院大学神学部・大学院学生奨学金申請用履歴書	○
◇召命・献身決意書（神学部提出のコピーは不可）	○

合奨学金制度に関する規程」に基づき、下記の要領で申請いただくようお願いいたします。詳細は日本バプテスト連盟へお問い合わせください

- 《申請期限》
2019年度入学予定者・・・2018年10月1日（月）（必着）
- 《申請書類》
※ 申請書類及び関連規程は全国壮年会連合ホームページ<http://www.sonen.net>の「ドキュメント」ページからダウンロードしてください。
※ なお、本様式は西南学院大学に提出する書類とは異なり、本奨学金貸与申請専用の様式です。お間違いないようご注意ください
- 《問合せ・資料等請求先》
〒336-0017 埼玉県さいたま市南区南浦和1-2-4
日本バプテスト連盟全国壮年会連合事務局
Tel/Fax:(048)886-7533(月・水・金 10:00～16:00)
e-mail:sonen@bapren.jp

公 示

2018年度総会において以下の通り選挙を行います。

<立候補対象>

- 2019・20年度 奨学金委員長 「全国壮年会奨学金規定」第5条2項による。
立候補者は当選後、総会にて4名の奨学金委員を指名し承認を得ることとなりますので、事前に選考願います。
- 立候補締切り：2018年7月19日（木）
- 全国壮年会連合規約細則第23条による選挙管理委員会の委員長宛に、書面で届出をしてください。
届出の内容は「立候補する職務名（今回は奨学金委員長）、氏名、所属教会、受浸年月日」を記載してください。
様式は自由です。

<注：届出先などのお知らせ>

選挙管理委員長と選挙管理委員は、6月下旬の「地方連合壮年会等代表者会議」で選出されますので、今回は壮年会連合宛に送付下さい。委員長が決まり次第転送します。

日本バプテスト連盟全国壮年会連合
〒336-0017 さいたま市南区南浦和1-2-4

事務局執務：月、水、金 10:00～16:00 ☎・fax:048-886-7533 <http://www.sonen.net> sonen@bapren.jp